

令和6年度 卒業証書授与式！ 未来へ羽ばたけ小野っ子たち！

21日（金）、令和6年度の卒業証書授与式を行いました。12名の卒業生が本校の課程を卒業し、中学校へと旅立ちました。

卒業生は、卒業証書を受け取ったあと、大きな声で夢をかたりました。美容師になりたい、陸上選手になりたい、ネイリストになりたいなど、それぞれ自分たちの夢を語る姿に6年間の成長と未来の希望を感じます。

保護者への感謝の言葉では、普段感謝しながらも、なかなか口にできないことをそれぞれが言葉にして伝えました。ごはんを作ってもらったり、野球でお世話になったりと、それぞれの気持ちがしっかり詰まった感謝の言葉でした。

12名の子どもたちは小野小学校を巣立ち4月からは中学生になります。小学校の時には体験できなかった楽しいことがたくさんあります。また、つらいことや悲しいこともあるでしょう。どんなときにも、今まで6年間、がんばってきたこと、家族や友達、先生方に助けられたことを思い出し、充実した中学校生活を送って欲しいと思います。卒業生たちの、さらなる活躍を期待しています。

在校生も緊張感のもと、良い姿勢で1時間ががんばりました。誰一人動かず、別れのことばの立つタイミングやセリフなど、練習した成果が出ていました。

特に感動したことが2つあります。1つは5年生が別れの言葉の最後に声を合わせて言う「がんばります」です。練習の時は本当に小さな声で「本番、大丈夫かな？」と、思っていたのですが、本番は大きな声で力強く言ってくれました。さすが4月から小野小学校の中心になる学年だと感心しました。2つ目は全校生の校歌の声です。少ない人数ながら、みんなが持てる力を発揮し、素晴らしい校歌となりました。来年1年で小野小学校も終わりになります。校歌を歌う機会もどんどん少なくなっていくと思います。みんな、力を合わせて大きな声で歌う校歌を続けていきたいと思っています。

校長式辞では2つのことを6年生にお願いしました。一つは「たくさん失敗しよう」ということと、もう一つは「感謝する心を忘れない」ということです。これからの人生は今まで以上に「自分」がどのように考え、行動するのかが問われます。保護者から自立して一人の人間として行動します。その中で大切にして欲しいことを伝えました。中学校卒業の時には何倍も成長していて欲しいと思っています。



卒業生も在校生も非常にながらぶ卒業式です。みんなお疲れ様でした。

★家読とメディアについて！

昨年度もこの時期に紹介しましたが、2018年経済協力開発機構（OECD）が実施したPISA調査によると、読書を楽しむ日本人学生の割合がOECD平均を下回りました。読書習慣がある生徒は、読書をしていない生徒に比べ文章読解力が高い傾向にあることから、読書を楽しむ機会を増やす必要性があるということです。

一方で、勉強とは関係なく読書を行うと答えた生徒が45%だった2000年に比べると、2009年の割合は56%まで増加。日本は加盟国の中で増加傾向にある数少ない国のひとつだそうです。

本校では家読を推奨しています。

家読(うちどく)とは、「家族みんなが家庭で読書」をすることです。
家読のやり方はいろいろ…

- ☆ 家族に読み聞かせをする(親から子どもへ・子どもから親へ・弟や妹へ)
- ☆ 同じ本を親子で一緒に読む
- ☆ それぞれが自分の好きな本を読む
- ☆ 一冊の本を交互に読む など…

家族で本を楽しむことができれば 家読です。
ぜひ土日に、家族で家読にチャレンジしてみましょう！



本来は上記のように「家族で一緒に本を楽しむ時間を！」が目標であった。とはいえ、保護者の皆さまも忙しく時間的に難しい場合もあると思います。また、先日調査したメディアコントロールの結果を見るとやはり年々、メディア（テレビ、スマホ、タブレットなど）を使用する時間が増えてきています。学習する時間の減少だけでなく、家族とのコミュニケーション、読書、お手伝いなどもっと時間を使って欲しいことができていないことへの危機感をすべての人々が持つ必要があると思います。

4月の前半の行事予定					
日	曜	行 事	日	曜	行 事
7	月	離・着任式 始業式 下校 11:45	10	木	午前中授業給食なし 下校 11:45
8	火	入学式 下校 11:45			PTA運営委員会、18:30、PTA全体委員会19:00
9	水	午前中授業給食なし 下校 11:45	11	金	給食開始(2~6年)、下校1年11:45、2~6年15:00

令和6年度が終了します。保護者の皆さま、地域の皆さま、一年間お世話になりました。子どもたちが笑顔で成長できる小野小学校をめざして教育活動を行ってきました。至らないところもあり、ご迷惑をおかけしたかも知れません。また、個人的に入院等、ご心配とご迷惑をおかけしまして、誠に申し訳ありませんでした。

来年度は小野小学校最後の年です。職員一同、力を合わせて子どもたちが素晴らしい時間を過ごし、笑顔になれる学校づくりをしていきたいと思ひます。保護者の皆さま、地域の皆さま、小野小学校へお力添えをよろしくお願ひします。

令和6年度 学校評価の結果と考察

問番号	質問	今回 R7 2月	前回 R6 11月	前々回 R6 2月	考察
問1	学校は、本年度の小野小学校の教育目標や教育計画は分かりやすく伝えていますか。(学校の取組として学校便り、学年通信、ウェブサイト、Instagramなどで学校の様子や子ども達の様子をお伝えしています。)	100%	97%	100%	<p><u>問2に関して</u> 10人弱の児童が理解できていない状況があります。全員が理解できる授業づくりと実態の把握を行いながらの授業が必要だと感じます。</p> <p><u>問8に関して</u> 子どもたちが学校を楽しんでいる理由は様々です。10人弱の児童が楽しくないと答えています。それぞれの状況に合わせた対応が必要だと感じます。</p> <p><u>問10に関して</u> 毎年の課題です。宿題を出す出さないだけでなく、家庭で自主的に学習を積み重ねる取組を保護者の方々に協力をいただきながら対策を考える必要があります。</p> <p><u>問12に関して</u> これも毎年の課題です。読書活動の活性化のための取組を考えて実施していますが中々結果に表れませんがメディアの利用はどんどん増えていますので、併せて考えていかなければならない大きな課題です。</p>
問2	学校は、一人一人の子ども達が分かるように学習指導に取り組んでいますか。	81%	81%	92%	
問3	学校は、小野の自然を生かした環境教育に取り組んでいますか。(学校の取組として、学校周辺環境調べ、10/23稲刈り・7/4生き物調査などを行っています。)	88%	95%	97%	
問4	学校は地域の良さを子ども達に伝えようとしていますか。(学校の取組として、各地区行事や祭りへの参加、地域の自然・文化・歴史について学習しています。)	91%	86%	97%	
問5	オープンスクールや参観日、運動会などの行事は、学校の様子や子ども達の様子を知るよい機会になっていますか。	97%	95%	100%	
問6	学校は、環境が整備され、安全面の配慮をしていますか。	91%	89%	87%	
問7	学校は小野パトロール隊、110番の家など、保護者や地域の方と連携して、安全体制を整えていますか。	88%	84%	89%	
問8	あなたのお子さんは、楽しい学校生活を送っていますか。	82%	92%	89%	
問9	あなたのお子さんは、人の話を聞いたり、自分の思いを話したりする力がついていますか。	84%	84%	84%	
問10	あなたのお子さんは、進んで家庭学習をしていますか。	42%	49%	55%	
問11	あなたのお子さんは、挨拶をしたり、相手を思いやるやさしさが育ったりしていますか。	91%	86%	95%	
問12	あなたのお子さんは家庭でも進んで本を読んでいますか。	27%	24%	26%	
問13	あなたのお子さんは、友達とよく遊んでいますか。	76%	73%	79%	
問14	家庭では、お子さんと話し合っ、ルールを決め、それを守らせようとしていますか。	79%	78%	84%	
問15	家庭では、お子さんとの会話を意識していますか。	85%	89%	92%	
問16	出石中学校区での小中一貫教育を推進していますが、連携ができていると感じますか。(学校間の取組として、6年生の中学校訪問(部活参観、生徒会との交流)、中学生の訪問による中学校生活の紹介を6年生に話す。また、中学校スクールカウンセラーの学校訪問などを行っています。)	90%	91%	84%	
問17	出石中学校区での小中一貫教育を推進していますが、推進できていると思いますか。(一貫教育として、小1から英語教育、小1の演劇的ワークショップ、小3からふるさと教育、小6でコミュニケーション教育などを行っています。)	91%	89%	89%	

保護者の声への回答 ※今年学校評価でいただいたすべての意見です。

☆宮内の祭りの相撲大会ですが、任意であったとしてもせっかくの行事なので積極的な声かけをして参加してほしい。

今年、久しぶりに相撲大会が実施できました。以前の話も多くの方から聞きました。当たり前のように、すべての児童が参加していて、活気のあるものであったとも聞きました。今年は任意でしたが、高学年の児童たちには積極的に声をかけました。様々な意見をお持ちの方がおられます。全国的に相撲大会への強制的な参加に関する意見も聞こえてきます。昔ほどの地区でも当たり前の行事だったのですが…来年度も積極的に声をかけますが、ご家庭の理解が一番の課題です。ご了承ください。

☆「緩やかな学期始め」の短縮について、趣旨は理解できますが、長期休業の延長のような感じであまり子どもたちの負担軽減にはなっていないように思います。授業の残りが宿題になったり、学期末に学習をつめこんだりということもあるように感じます。短縮期間をもう少し減らして、学校で仲間づくりやレクリエーションの活動にあてたり、ゆとりをもって授業を進めていただける方が、子どもたちの負担軽減や登校意欲につながるのではとも思っています。

ご意見ありがとうございます。子どもたちの意見も聞かせてもらいながら、また、授業数もきちんと加味しながら実施しています。学期が始まってすぐの授業時間の多さが子どもたちの負担になるということが言われています。不登校の面でも、先日の大分県での取組が新聞発表されていましたが、効果が見られていました。豊岡市でも、無理のないよう、緩やかにスタートを切ることが言われています。何が正解か分からないところがありますが、子どもたちの様子を見ながら進めていきたいと思っています。

☆小野バンドが今年度はなくて残念でした。

☆小野バンド、11月オープンスクールがなくなりさみしく思いました。

バンドフェスティバルやお城祭りなど、出場することができなくて残念です。現状では小野バンドとして指導することができる状況ではありません。どうしても専門的な指導者が必要です。市内の小学校を見ても、外部から指導者を呼ぶところが増えています。保護者や地域の方々の中で、指導していただける方がおられましたら、お声かけいただきたいと思っています。

なお、オープンスクールに関しては来年度は11月に実施します。今年は理科の研究会の関係で中止しましたが来年度は行います。保護者だけでなく、地域の方々にも見ていただきたいと思っています。

☆雪山教室、昨年今年も中止になり残念です。予備日があれば、子供も嬉しかったと思います。あと1年、他にはない楽しい校外授業をお願いしたいです。小野小学校の思い出になればと思います。

☆雪山遠足の代わりに行事をして頂けたらうれしいです。定期的に難しいと思いますが…。

☆今年もスキー遠足が中止になって残念でした。季節を変えて、神鍋散策とか、白糸の滝への遠足とかどうですか？(雨だとまた困りますね…)。小野小ラストイヤーにせむとも遠足を叶えてほしいです。

本当に残念です。雪山遠足という名前に変えて、全校生で参加するという形にしましたが、一度も実施できていません。来年度は最後の年なので時期を考えることや、もし、中止になったら急遽別の遠足を実施しようと思っています。また、他の行事も考えたいと思っています。

☆問2は、学校側でどのような取り組みをされているのでしょうか？自分の子供が特に学習面でつまづいている様子はありますが、分からないことがあれば個別に指導していただいているのでしょうか？

基本的には授業の中で子どもたちの様子を見て、全員が理解できているように授業をするのがあたり前ですが、中々そうは行かない面もあります。昨年度途中からですが、授業の様子や欠席などで理解に不足が見られるという状況の場合、放課後に子どもを残して学習するという状況が増えています。今年も多く学年で実施しています。学校や担任が必要と思えば声をかけさせていただきますが、保護者から見られて、気になるようでしたら担任に声をかけていただけたら対応したいと思っていますのでよろしくお願いします。

☆いつもインスタのアップを楽しみにしています。学校での様子が見れるのがとてもうれしいです。あと、学校がなくなってしまってもインスタのアカウントはそのままお願いします。子ども達にとっても良い思い出になると思います。

☆インスタをよくあげてくださるので、普段の子どもの様子がわかります。ありがとうございます。

フォローの方々の中には保護者や卒業生だけでなく、地域の方々も含まれており、喜んでます。今後も、子どもたちの様子を見てもらうために進めていきたいと思っています。小坂小学校との統合後は分からないところがたくさんあるので今お答えすることはできませんが、子どもたちの様子を知っていただき、開かれた学校になるようにつとめていきたいと思っています。

☆飛び出しぼうやは冬の時期は回収の方がよかったのでは、除雪のじゃまになってないか心配でした。

「除雪のじゃまになる」という意見も学校の方にはありました。一方で、「雪が積もっていないとき、いつもある飛び出し人形がないのは子どもの安全面からすると…」という意見もあります。PTAの生活安全部会でも協議して来年度どうするかは考えていきたいと思っています。

☆クラスにもよるかもしれませんが、休憩時間がとれない、などを子供達からききました。切りかえができないとしっかり学習できないのではと感じました。

授業ごとに授業者がかわる中学校や高校と違って、小学校は多くの教科を担当の先生が授業をしているため、チャイムで授業をぱったり切るといって、休み時間に食い込むことがあるのが現実です。ただ、おっしゃるようにきちんとその伸びた分は考慮して、休み時間を確保することは必要だと思いますので、子どもたちが「休み時間がない」と感じないような指導をしていきたいと思っています。

☆小中一貫教育としての取り組みによって、具体的にどのようなことが推進され、どのように連携が深まったのか伝ってこず評価が難しいです。(例年実施されていることは通信等で知らせていただいています。)

すべての活動を小中一貫だより(年間4号発行)で紹介させてもらっていますが、不十分などところもあると思います。申し訳ありません。基本的には「中1ギャップ」というものを防ぐために、中学校になれるための取組や小中で同じルールを決めたり、取組を実施するものです。連携の深まりを判断するのは難しいですが、子どもたちが出石中のことをある程度理解できて入学できるようにしたいと考えています。来年からは、小中一貫だよりを発行するだけでなく、内容的なものをもう少し子どもたちに伝え、保護者に伝わるようにしたいと思っています。